ARCO－117

20181126

高幡山金剛寺

紅葉ウォーキング 2018

ここ一週間で、ようやく秋らしく朝夕が冷え込み、朝方に 15℃近くなる日が続いている。今日も 16℃の朝を迎えている。肌寒い。紅葉の進み具合はどうだろうか。

関東バスの荻窪発千歳烏山経由北野行を待つ間に、日当たりに移動して暖を取りたくなる。バスを 20 分程で烏山にて下車。京王線高尾山口行の準特急に乗り換え。高幡不動駅改札口 10:00 の集合時間に合わせて 9:58 定時に到着。

ＷＩＮＧＳのメンバーは、年末近くの忙しさや季節の変わり目で体調を崩したりで、本日の参加者は４名。少しばかり人数が寂しいのだが、和やかにお不動尊に向けて歩き始める。高幡不動駅ビルは、近代的に整備されエスカレーターで駅前広場から参道へ。駅広場の西側に真っ赤に塗られた中華街風の鳥居が我々を迎えてくれる。

駅前広場から参道へ

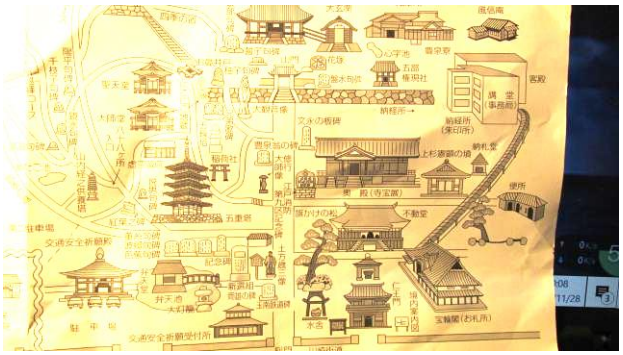
参道は、土産物屋も確かにあるのだが、参道というよりも商店街風の雰囲気である。この地も既に住宅街として発展していて、歴史をさかのぼる雰囲気には欠けてしまっているのは時代の波でやむをえまい。

金剛寺への参道

南北方向に抜ける川崎街道の先に仁王門が見えている。駅から５分程歩いている。

川崎街道手前から

高幡不動尊は、関東３大不動尊として寺院配置がなされていて、親しみやすい寺院としての景観作りが進められている。



高幡山金剛寺境内図

仁王門

春は紫陽花寺として、秋には紅葉を楽しめるように配慮・計画されているようだ。

南側の丘陵部（多摩丘陵自然公園＝愛宕山）には、四国 88 ヶ所巡礼のミニミチュア版が。お地蔵さんを各所に配していて、紫陽花や紅葉が背景を演出している。新選組土方歳三の菩提寺でもあり、江戸から明治への移ろいの時に日野の村の時代変化に逆らう若者の雄姿が、仁王門の南西側に佇んでいる。

仁王門内仁王像

仁王門を潜り、山内の参拝ウォーキングを開始。不動堂横に菊の展示があり、紅葉まつりと並行して菊まつりが開催中のようだ。扉越しに本日の安全祈願他をお願いするのはいつものこと。

不動堂

不動堂手前の菊展示

不動堂には、本尊である不動明王が鎮座されているはずであるが、本日は紅葉観賞がテーマ故、遠望にて遠慮させて頂く。

本尊不動明王座像（寺のパンフレットより）

各堂の添景として配置されている、もみじとお堂の姿との良いアングルとなる処を求め探しながら歩いて行くことに。不動堂南側の参道を西奥に向けてウォーキング。

奥殿＝寺宝展

奥殿を横に見ながら、山門へ。手前の大観音像が、紅葉を身にまとって優しく微笑んでくれる。

大観音像

大日堂の西側には、88 か所の山内が迫っている。庇越しに紅葉が降りかかって来る。

大日堂の西側に 88 ヶ所が

赤い帽子を被ったお地蔵さん（弘法大師）

大日堂から山内の紅葉を

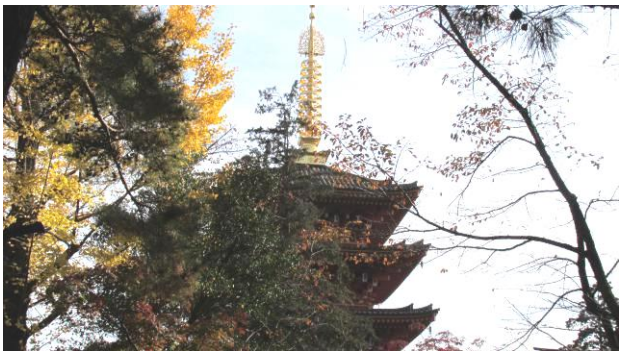
鐘楼と紅葉

ここから山内へ急坂・階段を登って行く。鐘楼が、紅葉の枝の先に姿を朧げに現わす。土台袴の白い漆喰塗りの曲線が、紅葉を背景にして美しい。

鐘楼:下部がもっと広がる

88 ヶ所の全てを見て回るにはきびしそうなので、紅葉の深いところを求めて入山させて頂く。お地蔵さん（弘法大師）に着せられた赤い烏帽子やエプロンと紅葉が風景を作っている。

もみじの紅色を求めて山内をさまよった。山内の通路から五重ノ塔が姿を霞ませながら見える。搭先の風輪の黄金色がまぶしい。



五重塔

風輪:5m 位の高さ

五重塔鳥瞰遠望

こんな黄葉も

真っ赤に染まったもみじ

黄葉？紅葉？

まだ黄色まで

もう少しで紅葉

山茶花ともみじ

18 番のお地蔵さん

旧高幡城跡

もみじと枯葉

黄葉状況のもみじ

日当たりと風の通りでこんなに違う

供養塔とイチョウ

手前は日陰・奥は日当

手前も奥も、もみじなのだが

山内から聖天堂前・太子堂前へと下りて来る。太師堂横に第１号の地蔵さんがまします。

太子堂と１号地蔵さん

虚空蔵院

虚空蔵院南側の紅葉

虚空蔵院から南に出ると五重塔の足元へ。ここでＷＩＮＧＳの記念撮影。

虚空蔵院前で記念写真

五重塔見上げ

五重塔東のイチョウ

搭の地下には休憩所があり一休みさせて頂く。休憩所とは言え塔の下、ご利益があるかも。

五重塔下の休憩所

元気をとり戻したところで、帰り道につく。土方歳三像を見上げて総門から川崎街道を渡る。

新選組土方歳三像

総門前からの見返り

参道を戻り駅広へ。駅前を駅ビルに沿って東に抜け、茶色掛ったタイル張りビルの自転車置き場横をすり抜けて南側に出ると、スペイン料理が売り物の「マリベン」が。

駅ビル前から見た参道側

参道と反対側にマリベン

レストラン＝マリベン外観

レディースランチを男女に拘らずに注文。サラダのドレッシング・スープ・メインディッシュのパエリア・アイスクリーム・コーヒーともに、なかなかの美味しさだ。

月曜定休の多いこの町であるが、食べログでのヒットは間違いなく、味もマウイーかった。「12 月の年末定例は、早めに終わらせて忘年昼食会にしようね」などと会話を進めながらのランチタイムミーティングであった。

少しばかり？数日？紅葉盛りには早かったかも知れないが、そこそこ紅色や黄色に染まった葉っぱを楽しみ、心温まるランチに舌鼓を鳴らさせて頂いた。

歩数は、4000 歩余りと少なめではあったが、山内の坂・階段を考慮すると、きっと平地での 5000 歩程のウォーキングではないかと思われる。歩数は少々物足りなさを感じる程度だ。

山内から展望する都内の風景は、超高層のビル群・マンション群が取り囲んでいて、高幡不動は砂漠の中のオアシスの様相で、時空に取り残されたタイムマシンのような気がした。せめてものオアシスを大切にしたい、と思い願うウォーキングであった。

２０１８１１２６
suginami　ＷＩＮＧＳ
ＪＵＳＴing